
私達の取り組みが経済産業省より

「次世代を担う繊維産業企業 100 選」に選定されました。

椅子張りから発信する サステナビリティ／環境配慮

椅子とベッド用資材のリーディングカンパニー、シンコー株式会社は経済産業省が実施した「次代を担う繊維産業企業 100 選」において、「サステナビリティ／環境配慮」の分野で優れた取組をしている企業として選定されました。

「すわる」と「ねる」の資材のシンコー株式会社（本社：愛知県名古屋市中川区、代表取締役社長：[矢追和彦]）が「もったいない」の精神で取り組む「環境配慮に優れた原料、製法の椅子張り生地」の企画・開発・商品化」が認められ、1月31日経済産業省より「次世代を担う繊維産業企業 100 選」に選定されました。

「もったいない」の精神から進められた企画・開発・商品化

「もったいない」の精神から様々な”環境に配慮した原料や製造方法に拘った椅子張り生地”の企画、開発、商品化を手掛ける。

一例として生地を製造する際に発生する残糸やくず繊維、不要になった古着などを回収し、反毛工程を通す事により再度繊維として再利用した椅子張り生地の開発も「もったいない」のキーワードから始まった取り組み。



<反毛繊維を使用>

その他、30年に渡り取り手掛けている糸の製造時に色を付ける染色工程がなく、使用する水や電力、CO2排出の大幅削減の出来る無水染色（＝原着糸）や綿木から綿を採取し、綿糸を製造する際に発生する落ち綿を利用したりサイクル綿を用いた椅子張り生地を商品化などの取り組みが今回、経済産業省より「サステナビリティ／環境配慮」の分野で優れた取組をしている企業として選定された理由。



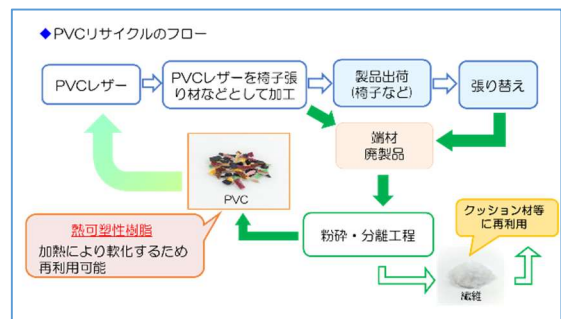
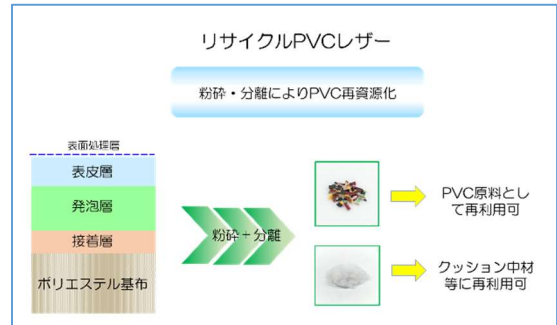
<和紙+リサイクル綿 使用>

サプライチェーン全体で取り組む環境循環リサイクルを啓蒙

製造販売した PVC レザーを協力工場や顧客の協力の下、使用後の端材を回収し、粉碎、分別したモノを PVC 原料として再利用するリサイクル PVC レザーも商品化。

その粉碎時に PVC レザーの裏基布も同時に粉碎する為、PVC 樹脂とは分別する事により、その屑繊維(裏基布を粉碎したモノ)をクッションの中材としても再利用を提案するなど、自社のみでなく、サプライチェーン全体での共存共栄、資源循環を見据えた環境循環リサイクルの取り組みを積極的に行っている。

又、それらの取り組みを展示会やマスコミ、業界誌などを通じて積極的に発信する事により、業界全体での環境配慮への底上げの為、啓蒙活動を行っている事が評価されました。



【シンコー株式会社について】

<http://www.sincol-n.co.jp/>

1966年5月設立

代表者 矢追和彦

〒454-0836 名古屋市中川区福船町3-1

事業内容:インテリア資材の企画、販売

【本リリースに関するお問い合わせ先】

シンコー株式会社 社長室 広報 大西

TEL:052-362-2711 e-mail:oonishi@sincol-n.co.jp

【経済産業省 HP より】

経済産業省 ニュースリリース

「次代を担う繊維産業企業100選」選定企業一覧(日本地図)